

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第37週の発生動向

全数報告の感染症 (37 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 7 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：日本紅斑熱 1 例。5 類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50 歳代	女	肺結核、気管支結核	咳、痰
			60 歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
			70 歳代	女	脊椎カリエス	画像所見あり
			70 歳代	女	肺結核	咳、発熱
			90 歳代	男	肺結核	咳
		都城	30 歳代	女	肺結核	画像所見(胸部異常影)
		日向	80 歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	日本紅斑熱	日南	70 歳代	女	患者	発熱、刺し口
5類	後天性免疫不全症候群	宮崎市	50 歳代	男	急性HIV感染症	発熱、倦怠感、頭痛、咽頭痛、左頸部・両鼠径部リンパ節腫脹

定点把握の対象となる 5 類感染症

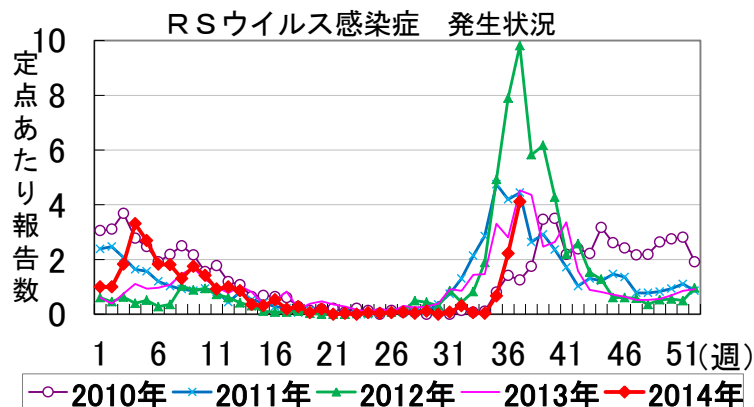
・定点医療機関からの報告総数は 676 人 (定点あたり 19.8) で、前週比 98% とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と水痘で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

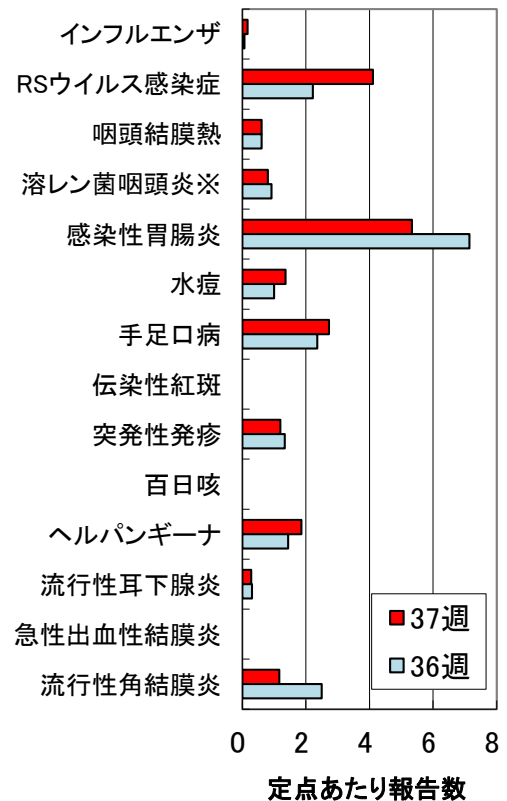
【RSウイルス感染症】

・報告数は 148 人 (4.1) で、前週比 185% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (3.5) の約 1.2 倍であった。日向(14.0)保健所からの報告数が多く、年齢別では 1 歳が全体の約半数を占めた。

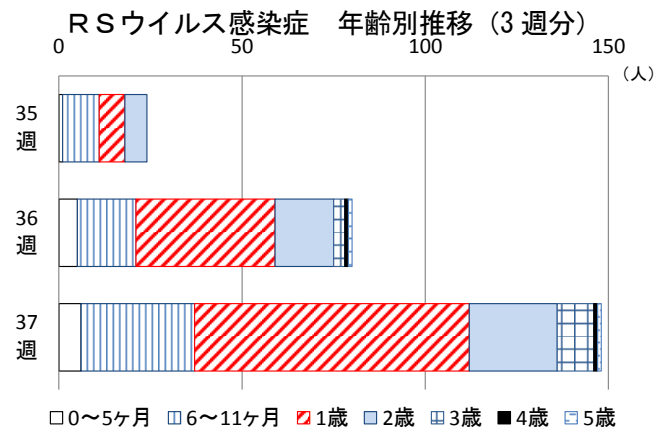
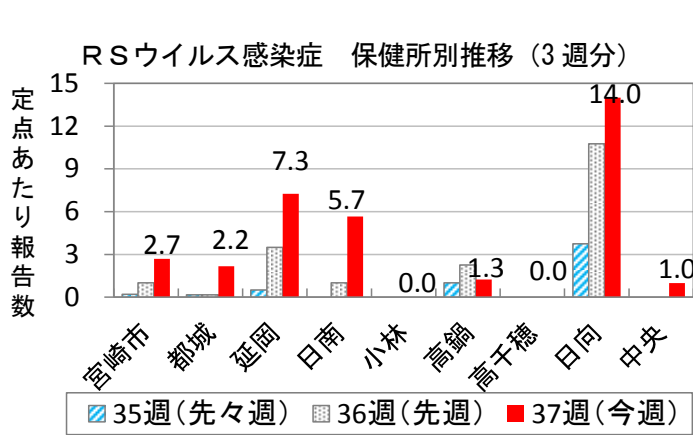
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



《前週との比較》

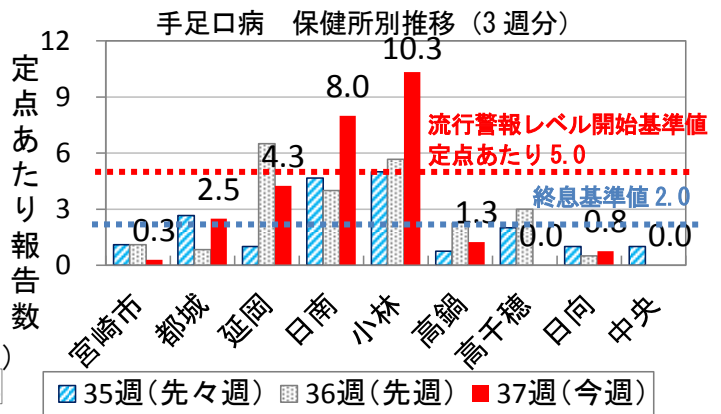
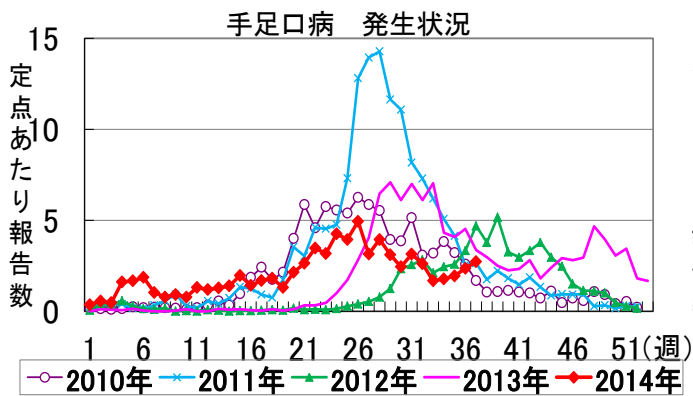


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



【手足口病】

・報告数は98人(2.7)で、前週比115%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (2.7)と同程度であった。小林(10.3)、日南(8.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳が全体の約7割を占めた。



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	手足口病(8.0)
小林	手足口病(10.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

流行警報レベル開始基準値
・手足口病(5.0)

★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：都城保健所管内から1例報告された。患者は1歳で、病原体はRSウイルス。

🇯🇵 全国第 36 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 36 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	446 例				
3類感染症	細菌性赤痢	5 例	腸管出血性大腸菌感染症	142 例	腸チフス	5 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E 型肝炎	2 例	A 型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群	8 例
	チクングニア熱	1 例	デング熱	60 例	日本紅斑熱	9 例
	日本脳炎	1 例	マラリア	5 例	レジオネラ症	23 例
	レプトスピラ症	1 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	ウイルス性肝炎	1 例	急性脳炎	4 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5 例	後天性免疫不全症候群	19 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	7 例
	梅毒	22 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	7 例
	麻しん	5 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 103%とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患はRSウイルス感染症と伝染性紅斑で、減少した主な疾患は百日咳とヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は 2,156 人(0.69) で、前週比 177%と増加した。佐賀県(2.8)、福岡県(2.5)、長崎県(2.3)からの報告が多く、年齢別では6ヶ月～1歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 6,252 人(2.0)で、前週比 88%と減少した。新潟県(7.4)、福島県(7.1)、宮城県(6.1)からの報告が多く、年齢別では1～2歳が全体の約半数を占めた。

■ 月報告対象疾患の発生動向 <8月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は38人（2.9）で、前月比158%と増加した。また、昨年8月（2.6）の約1.1倍であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数21人（1.6）で、前月の約1.6倍、昨年8月の約1.3倍であった。年齢別では20歳代、30歳代が共に全体の約3割を占めた。

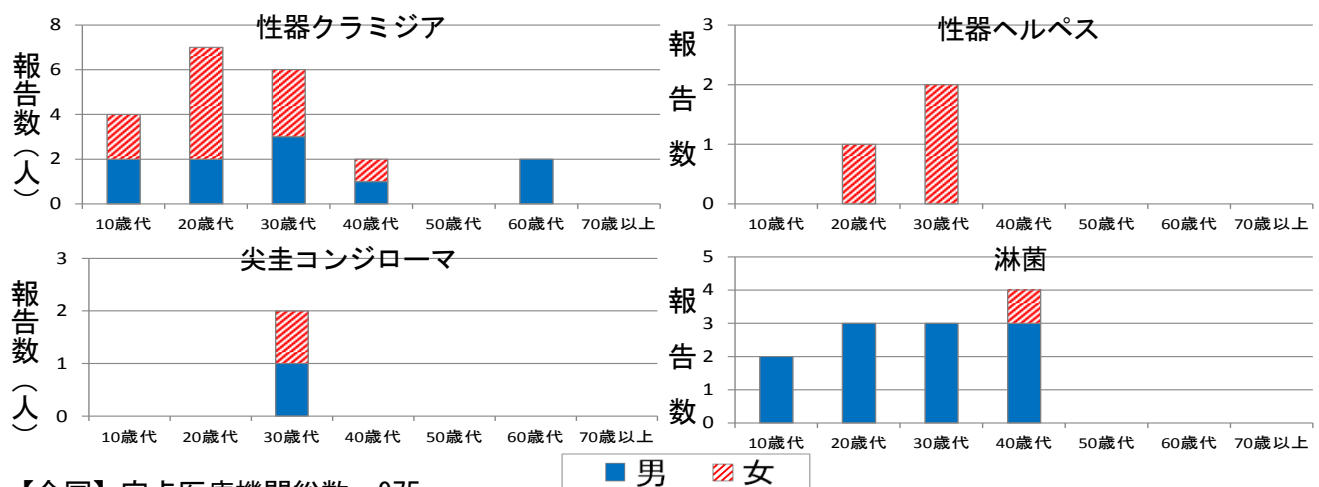
（男性10人・女性11人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月の約0.8倍、昨年8月の約0.4倍であった。（女性3人）

○尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月と同程度、昨年8月の約0.5倍であった。

（男性1人・女性1人）

○淋菌感染症：報告数12人（0.92）で、前月の約2.4倍、昨年8月の約1.7倍であった。40歳代が全体の約3割を占めた。（男性11人・女性1人）



【全国】 定点医療機関総数：975

定点医療機関からの報告総数は4,237人（4.4）で、前月比95%とやや減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,049人（2.1）で前月比91%、性器ヘルペスウイルス感染症757人（0.78）で前月比99%、尖圭コンジローマ528人（0.54）で前月比98%、淋菌感染症903人（0.93）で前月比102%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人（3.7）で前月比77%と減少した。また昨年8月（4.0）の約0.9倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数24人（3.4）で、前月の約0.8倍、昨年8月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月と同程度、昨年8月の約2.0倍であった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：473

定点医療機関からの報告総数は1,645人（3.5）で、前月比96%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,450人（3.1）で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症158人（0.33）で前月比87%、薬剤耐性緑膿菌感染症36人（0.08）で前月比160%、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人（0.0）であった（前月報告なし）。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第37週(09月08日～09月14日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4	10			1			1		8	
	定点あたり	0.07	0.17	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.17	0.00	1.33	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	80	148	27	13	29	17		5		56	1
	定点あたり	2.22	4.11	2.70	2.17	7.25	5.67	0.00	1.25	0.00	14.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	22	22	6		5	8				3	
	定点あたり	0.61	0.61	0.60	0.00	1.25	2.67	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	33	29	3	2	5	3		9		7	
	定点あたり	0.92	0.81	0.30	0.33	1.25	1.00	0.00	2.25	0.00	1.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	257	192	32	27	18	46	28	7	6	24	4
	定点あたり	7.14	5.33	3.20	4.50	4.50	15.33	9.33	1.75	6.00	6.00	4.00
水痘	報告数	36	49	10	13	13	5	3	1		4	
	定点あたり	1.00	1.36	1.00	2.17	3.25	1.67	1.00	0.25	0.00	1.00	0.00
手足口病	報告数	85	98	3	15	17	24	31	5		3	
	定点あたり	2.36	2.72	0.30	2.50	4.25	8.00	10.33	1.25	0.00	0.75	0.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	48	43	13	5	3	6	5	5		4	2
	定点あたり	1.33	1.19	1.30	0.83	0.75	2.00	1.67	1.25	0.00	1.00	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	52	67	18	7	18	6	3	8	1	4	2
	定点あたり	1.44	1.86	1.80	1.17	4.50	2.00	1.00	2.00	1.00	1.00	2.00
流行性耳下腺炎	報告数	11	10	1	2	6					1	
	定点あたり	0.31	0.28	0.10	0.33	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	7	7								
	定点あたり	2.50	1.17	2.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	2	1		1							
	定点あたり	0.29	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～37週)

2類感染症	結核	158例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	22例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	6例	日本紅斑熱	5例(1)	ポツリヌス症	1例
	レジオネラ症	9例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	8例(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例	梅毒	10例	破傷風	1例
	風しん	2例	麻しん	4例		

()内は今週届出分、再掲